

令和元年度の重点的な取組に対する対応について

(1) 地域や本県産業を担う人材の育成

- ① ふるさを愛し、未来のやまぐちで活躍する人材を育成するため、学校と地域が連携・協働したふるさと学習や、大学や企業等との連携を推進するとともに、こうした人材を育てる教員を育成

【取組の現状】

《新たな時代を見据えた人づくり推進方針の策定、推進体制の整備》

- 新たな時代の人づくり推進方針の策定に向けた、県内関係者による「新たな時代の人づくり会議」、幅広い分野の見識を持つ有識者と知事による「新たな時代の人づくりトークセッション」を開催し、人づくり推進方針、推進体制の整備について検討。

(新時代を創造する人づくり推進事業)

《ふるさを愛し、「志」について考え「行動」に移していく若者の育成》

- 高校生による歴史・文化施設の視察や、県内外の同世代の若者との交流を図る「ふるさを愛する若者育成交流事業」、知事と高校生及び大学生との対話セッションや講師による講義、グループワーク等を通じて、各自の「志」を深め、「行動」につなげる「やまぐち未来維新塾」を開催。

(明治 150 年から未来へ繋ぐ人材育成事業)

《高等学校と地域等との連携による地域等の課題解決を図る取組の推進》

- 田布施農工高校が、国の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の指定を受け、地元企業等と連携して地域課題の解決を図る探究的な学びを推進。

(高等学校における地域人材育成事業)

《魅力的なプログラムの提供による本県高校教育の魅力向上》

- 大学生との課題解決型ワークショップやテレビ会議システムを活用した講義・演習、大学における高度な研究に直接触れる体験的な学習、教員を対象とした大学教授等による講義・演習を実施。

(やまぐちで学ぶ！高校教育魅力向上事業)

《優秀な教員の確保、実践的指導力を有する人材の育成》

- 教員をめざす大学生等を対象とした学校体験制度や、採用予定の新規学卒者を対象としたインターンシップ等を内容とした「教師塾」を実施。

(教員資質能力向上推進事業)

《校内研修等の深化に向けた支援の充実・強化》

- 大学と学校、県教委が課題を共有し、連携してキャリアステージに応じた教職員の資質能力の向上に向けた取組や研修を推進。

(教職員等研修事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 「新たな時代の人づくり会議」及び「総合教育会議」において、「新たな時代の人づくり推進方針」の策定に向けた協議を進める。
- ◆ 「やまぐち未来維新塾」の各グループで検討しているプランについて、県内企業等への現地視察や、知事・講師への発表を通じて、プラン実現に向けた取組を進める。
- ◆ 教科横断的な視点に立った取組を通して、地域との協働による探究的な学びの一層の充実を図る。
- ◆ 高校生の主体性をもって生きていく力を育成するとともに、本県高校教育の更なる魅力向上を図る。
- ◆ 本県教育を担う人材の確保・育成のため教員志願者等へ情報提供を行うとともに、「教員育成指標」を活用し、キャリアステージに応じた計画的・継続的な資質能力の向上を図る。

② 県内企業が求める産業人材を育成するため、地域や産業界と連携した実践的な職業教育を推進

【取組の現状】

《高校生のスキルアップ支援》

- 基礎的な技能から高度資格まで、生徒の意欲やスキルに合わせた資格取得の促進や、全国大会で上位入賞をめざす取組を推進。

(明日のやまぐちを担う産業人材育成事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 科学技術、産業構造の変化等により、知識・技術等の高度化への対応が必要なことから、地域や地元企業との連携を一層推進し、専門分野に関する知識・技術の深化と実践力の育成を図る。

③ 社会全体で子どもの育ちを支える環境づくりを推進するため、県立高等学校へのコミュニティ・スクール導入や学校や地域の課題解決に向けた企業・大学等との連携強化など、コミュニティ・スクールを核とした地域連携教育を拡大・充実

【取組の現状】

《「やまぐち型地域連携教育」の取組の一層の充実》

- 昨年度実施した「地域連携教育に関する成果検証」の結果をもとに、各市町で戦略会議を実施。

県内7地域に「地域連携教育アドバイザー」を配置し、各市町における地域連携教育の推進を加速。

地域と学校が協働して行う活動を円滑かつ効果的に実施できるよう、地域学校協働活動推進員の委嘱及び家庭教育支援チームの設置を促進するとともに、PTAと連携した家庭教育支援を推進。

(地域教育力日本一推進事業)

《高校へのコミュニティ・スクールの導入の推進》

- 今年度新たに県立高校11校にコミュニティ・スクールを導入し、各学校・学科の特色に応じた地域の活性化につながる取組を推進。

(高校コミュニティ・スクール推進事業)

《総合支援学校におけるコミュニティ・スクールの取組の充実》

- モデル校(岩国、防府総合支援学校)で、首長部局が実施した防災訓練への参加を踏まえ、防災をテーマとした学校・家庭・地域による熟議、研修会を実施。

(特別支援学校コミュニティ・スクール充実事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 市町の主体的・自立的な取組が進むよう「地域連携教育アドバイザー」等による働きかけを強めるとともに、学校・地域連携カリキュラムの作成等を通じて、保護者や地域住民等の当事者意識の醸成を図る。
- ◆ 訪問型家庭教育支援の手法の普及、保護者の縦と横のつながりづくり等を通して、地域における就学前からの家庭教育支援の充実を図る。
- ◆ 令和2年度までに全ての県立高校にコミュニティ・スクールを導入し、企業や大学等との連携による学校・地域の課題解決に向けた取組の充実を図る。
- ◆ 総合支援学校と小・中・高等学校との交流・共同学習の推進等に向け、校種間連携の強化に向けた仕組みづくりを図る。

- ④ 児童生徒が時代の変化に対応し、自らの未来を主体的に切り拓いていけるよう、外国語教育や教育の情報化の充実など確かな学力の育成に向けて、新学習指導要領に対応した教育を推進

【取組の現状】

《小学校英語専科教員の配置》

- モデル校49校(配置校:20校、兼務校:29校)を指定し、英語に関する専門的な知識・技能をもった教諭による質の高い外国語活動の学習指導を実施。

(小学校英語専科教員の配置(給与費))

《プログラミング教育の実施の支援》

- 研究指定校7校におけるプログラミングロボットを活用した授業実践研究・授業公開やリーダー養成研修会を実施。

(プログラミング教育推進事業)

《高等学校における次世代型教育の推進》

- 県立高等学校9校を研究指定校に指定し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導方法・評価方法、基礎学力の定着等を促すPDCAサイクルの構築に向けた校内研修体制等を開発。

(やまぐち次世代型教育推進事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 英語教育に関する教員の更なる資質・能力の向上を図るため、指導力向上研修会を実施する予定。今後の増員計画については、国の動向と市町の実情を踏まえ検討する。
- ◆ 来年度、全ての小学校においてプログラミング教育が円滑に実施できるよう、引き続き、最新の情報提供を行うとともに、授業実践を支援する。
- ◆ 県内高等学校等へ効果的な指導方法・評価方法等の普及を図るとともに、PDCAサイクルの構築に向けた校内研修体制の開発を一層推進する。

⑤ 一人ひとりのキャリアステージに応じて求められる能力・スキルを身に付けることができるよう、リカレント教育を推進

【取組の現状】

《生涯学習の推進》

- 生涯学習情報提供システム「かがやきネットやまぐち」を運用し、大学をはじめとする様々な団体が実施する講座等の情報（開催日、内容、申込方法等）を提供。

(生涯学習推進体制整備事業)

《県民への生涯学習機会の提供》

- 山口県立大学において、教育・福祉・医療等分野の専門職向けのキャリアアップ研修や一般県民と学生が一緒に学びながら子育て支援、認知症ケア等のリーダーを育成する「桜の森アカデミー」、市町と連携して地域のニーズに応じた講座「サテライトカレッジ」等を開講。

(県立大学運営費交付金)

《子育て女性の再就職支援》

- 子育て女性等を対象に、職場体験、スキルアップ研修、職業訓練等を実施し、就職に向けての不安の解消や就業意欲の醸成、職業能力の開発・向上を図り、働く意欲のある女性の再就職を促進。

(子育て女性等の活躍応援事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 市町や大学、関係機関等と連携し、各種講座やリカレント教育等に関する登録情報を充実させるとともに利便性の向上を図る。
- ◆ 県民や企業のニーズを踏まえた多彩な教育プログラムの開発・提供に取り組み、山口県立大学等におけるリカレント教育の一層の充実を図る。
- ◆ 就職を希望する子育て女性等の就業ニーズやライフスタイルに対応した支援を実施し、支援効果を高めるため、しごとセンターをはじめ、労働局・ハローワークや市町等の就業関係機関とも連携して事業を進めていく。

(2) 若者の県内定着の促進

- ① 若者の県内就職に向けて、県内企業の情報発信や、県立高校への「県内就職促進統括マネージャー」の配置、大学生・企業のニーズに沿ったインターンシップの実施、就職支援協定締結大学等との連携強化、「COCプラス」や「大学リーグやまぐち」との連携を促進

【取組の現状】

《県外人材の県内就職の促進》

- 県外に進学した学生の県内就職については、就職支援協定校との連携を活用し、協定校就職支援担当者と県内企業採用担当者による意見交換会を開催。また、保護者を対象とした県内企業講演会や協定校就職支援担当者との相談会を開催。さらに、県内企業をより深く知ってもらうための学生と企業とのランチ交流会を実施。

(県外人材県内就職促進事業)

《高校生の主体的な県内就職の促進》

- 地元就職した卒業生と高校生の座談会等の開催や県内就職促進統括マネージャーを中心とした組織的な求人開拓、求人情報の共有による広域でのマッチングを促進。

(やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業)

《やまぐちインターンシップフェスタ等の開催》

- 企業と学生のマッチングやインターンシップ参加学生の旅費等助成などに加え、夏期インターンシップの参加を促進するため、やまぐちインターンシップガイダンスを実施。また、春季インターンシップへの参加の促進と受入企業の拡大を図るため、やまぐちインターンシップフェスタを開催予定。

(若者県内定着促進事業)

《長期体験型インターンシップ等の促進》

- COCプラス等と連携し、長期体験型インターンシップ等の推進を図るため、就業体験支援員を配置するとともに、企業の魅力を大学生等に発信する「山口きらめき企業の魅力発見フェア」を開催。

(山口で学び、活躍する人材育成支援事業)

《大学による地域や企業等の課題解決の支援》

- 大学が有する研究機能等の活用による地域や企業等の課題解決を支援するため、大学リーグやまぐちと連携し、企業ニーズの掘り起こしや大学とのマッチング等を行う統括コーディネーターの配置を支援。

(大学の魅力向上地域貢献促進事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 売り手市場の中、インターンシップ受入希望事業所数は増加した一方で、申込学生数は減少しており、今後、春季インターンシップの期間の短縮や、やまぐちインターンシップフェスタの開催を通じて、参加学生数の増加を図る。
- ◆ 県内企業に関するガイダンスの一層の充実・マッチングの促進が必要であり、県内企業の魅力やよさについて理解を深める取組を推進する。
- ◆ 県内就職・定着を促進するため、引き続き、県内外の学生に対して、県内企業の魅力や就職関連情報等を、様々な方法により周知する必要がある。
- ◆ 産学公の連携を強化し、県内大学等有する研究機能や知見、学生の意見等を活用することにより、地域や企業の課題解決を支援する。

② 若者の職場定着に向けた研修やセミナー、キャリアカウンセリングを推進

【取組の現状】

《大学生等の県内就職・定着への支援》

- 若者・企業双方の意向やニーズを理解しているキャリアカウンセラーによる就職支援セミナーを実施。また、就職前後を通じて、一人ひとりの個性に応じたきめ細かなカウンセリングを実施。

(山口しごとセンター管理運営費)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 県内就職・定着を促進するため、引き続き、県内外の学生に対して、県内企業の魅力や就職関連情報等を、様々な方法により周知する必要がある。

③ 高校生が主体的な選択により行う県内大学等への進学を支援するため、県と大学等との連携強化や高大連携による相互交流を推進

【取組の現状】

《県内大学等の魅力発信、高等学校等の進路指導の実施》

- 県内大学等と連携した取組や県内大学等のオープンキャンパスへの参加促進、進学情報冊子の作成・配布など、高校生が県内大学等の魅力やよさについて理解を深める取組を実施。
- 大学リーグやまぐち等と連携し、県内大学・専修学校等のオープンキャンパスの開催情報をとりまとめた「オープンキャンパスマップ」を作成し、県内高等学校等の学生・保護者などを対象に配布。

今後、県内大学・専修学校等の魅力や進学情報をとりまとめた「県内進学ガイドブック」を作成・配布するとともに、県内高校生が大学や仕事の魅力等を一度に体験できる「県内進学・仕事魅力発信フェア」を開催。

(やまぐちの未来へつなぐ高大連携事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 県内高校生や保護者などが県内大学等の魅力やよさに対する理解をより一層深められるよう、様々な方法による情報発信及び県内大学等との連携を強化する。
- ◆ 県内大学等の魅力などについて、大学リーグやまぐち等と連携し、高校生や保護者の理解を一層深める必要がある。

(3) 教育環境の整備・充実

① 児童生徒が安心して学習やその他の活動に取り組むことができるよう、いじめの未然防止や早期発見・早期対応、相談・支援体制を充実

【取組の現状】

《いじめに関する相談体制の強化、教員・管理職の研修会の充実》

- 公立高校生を対象として、SNSを活用した連絡窓口を7月に開設。
スクールカウンセラーを全公立学校に、スクールソーシャルワーカーを県及び全市町に配置し、全ての学校で専門的な相談・支援が行われるよう体制を強化。
「いじめの未然防止」等に係る教員研修会や外部専門家研修会の実施等により、児童生徒支援の質の向上及び連携を強化。

(いじめ・不登校等対策強化事業)

《心理教育プログラムの実施》

- 全公立学校において、いじめ等の未然防止に向けて、スクールカウンセラーによる「グループエンカウンター」「ストレスマネジメント」「SOSの出し方に関する教育」などの心理教育プログラムを実施。

(思春期グローイングハートプロジェクト事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 事案の複雑化・多様化が進み、学校だけでは対応が困難な事例が増えていることから、専門家との連携はもとより、学校、家庭、地域、関係機関等の連携による社会総がかりでの取組を推進する。
- ◆ プログラムの内容等について、学校とスクールカウンセラーとの間の事前確認・協議の徹底を図るとともに、推進委員会において、いじめ等問題行動や不登校等の現状、振り返りアンケート等を踏まえ、プログラムの検証及び改善を図る。

② 子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の充実を図るため、学校における働き方改革を推進

【取組の現状】

《教員の長時間勤務の是正》

- 統合型校務支援システムを9校に導入するとともに、学校の事務的業務を補助する学校業務支援員を13市93校（小学校45校・中学校48校）に配置。
(学校における働き方改革環境整備事業)
(学校業務支援員配置事業)

《部活動の活性化及び顧問教員の負担軽減》

- 単独での部活動指導や大会への生徒引率等が可能な部活動指導員を7市町の公立中学校28校に50名、県立学校20校に28名を配置。
(やまぐち部活動応援事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 「学校における働き方改革加速化プラン」に基づく取組の成果と課題を踏まえ、教職員の更なる意識改革を図りながら働き方改革を推進する。
- ◆ 公立中学校への部活動指導員配置について、今後も市町への積極的な働きかけを行う。

③ 障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加を促進するため、障害がある者となない者が共に学ぶインクルーシブ教育システムを充実

【取組の現状】

《特別支援教育に係る一層の体制整備の推進》

- 小・中学校に配置した支援員や高等学校に配置した担任教員により、「通級による指導」を実施するとともに、支援員、担当教員の専門性の一層の向上を図るための研修会を開催。
(インクルーシブ教育システム推進事業)
(通級指導教員の配置(給与費))
(高等学校における特別支援教育体制整備充実事業)

《「きらめき検定」の普及・啓発活動の実施》

- 手順書や試技映像を収録したDVDを作成し、各総合支援学校に配布するとともに、「きらめき検定」の取組の成果を踏まえた、喫茶サービス、介護作業等の新しい作業種目の開設に向けた教育課程の見直しを実施。

(山口県特別支援学校技能検定「きらめき検定」推進事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 「通級による指導」による成果を「通常の学級」で生かすため、教職員、児童生徒、保護者に対し、制度の一層の理解を促進する。
- ◆ 「きらめき検定」の取組の成果を活用し、産業科の学科編成により設置する就業実践科を中心に、職業教育の更なる充実と地域との交流を推進する。

④ 様々な入学動機や学習歴を持つ生徒の多様な学びのニーズに対応するため、多部制定時制高校の設置を推進

【取組の現状】

《多部制定時制高校の整備》

- 実施設計を完了し、建築工事の手續きに着手。

(県立学校施設整備事業(多部制定時制高校の整備))

【課題及び今後の対応】

- ◆ 令和3年度末の整備完了をめざし、着実に整備を進める。

⑤ 多発する地震等の災害に備えた安心・安全な学校づくりを推進

【取組の現状】

《学校安全の取組の推進》

- 県内7地域での学校安全推進研修会の開催等により、「第2次山口県学校安全推進計画」に基づいた組織的かつ効果的な取組を強化。

(学校安全総合推進事業)

《安全で快適な学習環境の整備》

- 安全な学習環境を整備するため、学校施設の老朽化対策や外壁改修を実施するとともに、全ての普通教室への空調整備の設置を完了。

(県立学校施設整備事業(耐震・老朽化対策、空調設備整備))

《私立学校施設の耐震化の促進》

- 学校法人の耐震化に向けた取組を支援するため、耐震化工事などに対する助成を実施。

(私立学校耐震化促進事業)

【課題及び今後の対応】

- ◆ 各学校における学校安全の取組の更なる充実に向けて、優れた実践を各種研修会やウェブページ上で情報発信し、周知に努める。
- ◆ 施設の老朽化対策について、「個別施設計画（長寿命化計画）」を策定し、計画的な整備を進める。
- ◆ 建物や非構造部材の耐震対策に対する支援により、私立学校施設の耐震化を一層促進する。